

県内保健所・センターの取組

○ 動物愛護教室

動物愛護思想及び動物の適正飼養の普及啓発を図るには、次代を担う子供たちに対する教育が不可欠であることから「動物の愛護及び管理に関する法律」及び「岐阜県動物の愛護及び管理に関する条例（所有者等の義務及び遵守事項）」に基づき、主に小学生を対象として動物についての理解、生命を慈しむ心の育成、動物愛護意識の高揚及び動物による危害の防止を目的とした動物愛護教室を開催する。令和7年度は、合計15回実施した。

動物愛護教室開催状況

回数等／年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
開催回数	11	11	13	10	15
受講人数	1,392	1,145	1,164	839	1,039

岐阜保健所（各務原市立中央小学校 1年生）

● 実施方法及び内容（講師：動物愛護センター、保健所）

モデル動物として愛護センターふれあい犬を用いて動物が命をもって生きていることの講義

- ・講義の中で聴診器や携行式超音波診断装置（胎児用パルスドップラー心音器）を用いた心音聴取の実習を行った。
- ・自身の心音とふれあい犬の心音を聴き比べ、人も犬も同じく生きていることを確認してもらった。
- ・質疑応答では、岐阜保健所から犬の性質や犬との接し方についての質問に回答した。

西濃保健所（輪之内町立仁木小学校 1、2年生）

● 実施方法及び内容（講師：動物愛護センター、保健所）

パワーポイントを用いたスライドによる講義

- ・ふれあい犬ぐうと動物愛護センターについて
- ・心臓の話と聴診器の使い方
- ・保健所について
- ・犬猫の飼い方についてのお願い
- ・ふれあい犬「ぐう」の心臓の音を聞こう、自分や友達、先生の心臓の音を聞こう

関保健所（関市立小金田中学校 特別支援学級1～3年生）

● 実施方法及び内容（講師：動物愛護センター、保健所）

パワーポイントを用いたスライドによる講義

- ・動物愛護センターについて
- ・動物の心音について（ふれあい犬の聴診体験）
- ・保健所に来る犬猫について
- ・猫の適正飼育について
- ・動物の終生飼養について
- ・動物のいのちについて

可茂保健所（美濃加茂市立下米田小学校、蜂屋小学校、太田小学校、山之上小学校、伊深小学校、加茂野小学校、古井小学校、山手小学校 1、2、4年生、特別支援学級）

● 実施方法及び内容（講師：農業生産法人、市教育委員会、岐阜大学、保健所）

農業生産法人代表よりヤギの生態、触れ合い方の注意点についての説明及び岐阜大学生によるヤギについてのクイズ

- ・説明後、農業生産法人が連れてきたヤギを用いふれあい活動を行った。

- ・聴診器などを用い、ヤギと自分の心音を聞き比べた。
- ・保健所より、動物の適正飼養の説明、手洗いの励行を呼びかけ、犬猫の飼い主の方へのリーフレット等の配布を行った。

東濃保健所（多治見市立北栄小学校 3、4年生）

- 実施方法及び内容（講師：保健所）
 - パワーポイントを用いたスライドによる講義
 - ・保健所ってどういう仕事をしているの？
 - ・健康を守る
 - ・獣医（動物のお医者）さんのお仕事
 - ・家畜（飛騨牛）のおはなし（お肉になるまで、家畜たちの命を「いただきます！」と感謝）
 - ・狂犬病予防接種について（狂犬病はどんな病気？、守ってね3つのルール、かわいい犬をまもろう）

恵那保健所（恵那市立中野方小学校 1年生）

- 実施方法及び内容（講師：動物愛護センター）
 - パワーポイントを用いたスライドによる講義
 - ・「生きている」ってどうゆうこと？
 - ・愛護センターからふれあい犬を連れてきて、聴診器を使って各自で自分とふれあい犬の心音を聞く
 - ・心音計を使って、犬と人の心拍数の違いを聴き比べる
 - ・ふれあい犬とのふれあい（餌やり等）
 - ・犬猫を飼うことの責任について
 - ・保健所に保護され動物愛護センターに持ち込まれる犬猫について
 - 人畜共通感染症ハンドブックの配布

飛騨保健所（中山保育園 年長クラス）

- 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員を含むボランティア団体）
 - パワーポイント（動物愛護推進員作成）を用いてスライドを投影及び当団体に保護している犬猫とのふれあい。
 - ・ぬいぐるみと動物の違いについて、聴診器を用いて、心音の有無を説明。
 - ・スライドで示された犬猫の写真を見て、犬猫の感情が○（嬉しい、楽しい等）か×（悲しい、寂しい等）か当ててもらう。
 - ・スライドにて紙芝居風に作成された「さくらねこのおはなし」を視聴してもらう。
 - ・小型犬（トイ・プードル）1頭、成猫2頭を用い、1頭ずつグループになり、触れあってもらおう。
 - ・聴診器で心音を聴いてもらう。
 - ・愛護推進員が各園児に、動物の扱い方を教える。

○ 動物愛護推進員活動支援事業

県が推進員活動の環境を整備し、その活動を支援することにより、県民に対する動物の愛護及び適正飼養等の普及啓発を図る目的で、各保健所及びセンター管内の推進員活動の支援を実施した。

岐阜保健所

支援内容 各務原「いつものもしもCaravan2025」での岐阜保健所出展ブースにおいて動物愛護推進員がセラピー訓練犬を同行して参加した。ふれあい体験及び犬のしつけ相談を実施した。

動物愛護推進員とともにイベント来場者に対して「同行避難」を中心として、日頃からの災害に対する備えについての啓発活動を合わせて行った。

本巣・山県センター

支援内容 山県市防災フェスタにおいて、動物愛護推進とペットの防災啓発及びセラピードッグとのふれあい活動を実施

可茂保健所

支援内容 動物愛護推進員（獣医師会推薦）から通院している猫の飼い主の飼養状況について相談を受け、状況確認。（高齢者独居・病気療養中・多頭飼養届出者）

東濃保健所

支援内容 愛護推進員（保健所推薦）が行う猫の保護活動の支援を実施

恵那保健所

支援内容 動物愛護推進員と協働で市民公開講座「中津川市における地震とペット防災について考える」を開催

○ 譲渡ボランティア登録

県内の保健所等は、ボランティアの協力を得て収容動物の譲渡を行っている。県生活衛生課で一元的にボランティアを登録し、広くボランティア登録者に譲渡対象動物の情報を提供している。また、令和4年度から登録ボランティア同士の連携の強化を目的に、ボランティア間の情報交換会を県が主催している。

登録者 67人（令和8年7月2日時点）

○ 東濃圏域の地域猫不妊去勢手術委託

地域猫活動の重要な部分である不妊去勢手術を動物愛護センター（美濃市）で実施しており、動物愛護センターの手術室、術後の猫を観察するための場所、手術者に限りがあるため、1日あたり実施できる手術頭数に制限がある。

飼い主のいない猫に不妊去勢手術を受けさせる場合は、動物愛護センターへ搬送する必要があるため、東濃地域の自治体等から手術のために猫を搬入する際の移動距離が負担となるため、東濃地域（東濃保健所・恵那保健所管内）の動物病院に地域猫として管理する猫の不妊去勢手術を委託している。

○ 子猫のミルクボランティアの育成

県内の保健所で収容した猫のうちその多くは離乳前の子猫が占めている。

岐阜県動物愛護推進計画の家庭で飼養できる犬猫の殺処分50%削減を継続的に達成するためには、離乳前の子猫の譲渡を推進する必要があるため、離乳前の子猫を譲渡可能な大きさまで育てるミルクボランティアの育成を行う。

ミルクボランティア登録者数

登録者 66人（令和8年7月2日時点）

預託頭数

	R 4	R 5	R 6	R 7	合計
預託頭数	42	119	103	114	378